八碁連だより

４月号 第 344 号
発行年　令和２年４月１日
発行所　八王子囲碁連盟
住所　八王子市大和田町
3-17-42-110
電話　042-686-1762
発行者　成田　滋
編集者　森本康男

目　次

☆巻頭言
-新年度の指針-・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
☆暫定的な新年度の執行部と活動の開始・・・ 2
☆日本棋院八碁連支部コーナー
日本棋院の現状と支部活動・・・・・・・ 4
☆詰め碁コーナー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
☆お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
☆編集後記
八碁連 HP　https://hachigoren.com

巻頭言

新年度の指針

八王子囲碁連盟会長　成田　滋

皆様のご協力で昨年度はすべての大会を開催することができました。「初の女性囲碁大会」も２月 16 日に開くことができました。世界保健機構(WHO)が令和元年１月 30 日に「新型ウィルスで死者 170 人、世界は警戒が必要」と発表し、２月３日に大型客船が横浜に入港しました。その後２月 16 日には 59 名の新型コロナウィルス患者や無症状病原体保有者が見つかったと厚生労働省が発表したとき、内心、女性大会を開催できるかどうか冷や冷やしました。

今回の新型ウィルスの拡大にあたり、各同好会が毎週の定例会において自主的に注意を喚起しあい、４月の浅川、恩方同好会と５月の元八活きいき大会の開催中止について苦渋の決断をされたことに敬意を表します。中野活きいき大会は、今月末の総会で決めるという連絡を頂戴しています。残念ながら八碁連総会は諸般の事情で順延となっております。

今年で八碁連は創立 32 年目です。令和２年度も私は非才ながら会長として新たな挑戦をしたいと考え、新執行部のもとでいくつかの構想を練っております。八碁連という存在が地域により浸透するために「イメージと認知度の向上」ということを行動の指針としたいと考えています。八碁連 Web サイトやソーシャルメディアの活用、市内外の各種の組織に対する積極的な働きかけが重要となります。

もう一つの指針は「級位者の棋力向上と女性会員の獲得」です。碁老連創立者、故熊崎正一様が提唱されておられた「級位者の棋力向上」は歴代の会長様らが取り組んできた課題であります。そのための研修会も企画いたします。この古くて新しい旗幟を今一度かみしめ、再度今年度の目標として達成すべく、精一杯努力してまいります。ご協力、ご鞭撻をお願い申し上げます。

初の女性囲碁大会の様子

暫定的な新年度の執行部と活動の開始　　会長　成田　滋

新年度の執行部と活動は、同好会会長の方々の過半数によるご了承いただき開始いたしました。役員の延長に伴う規約の改正と新年度の役員は以下のようになります。

I.　八碁連規約第７条に、以下のような役員の任期延長の規定を設けます。

第７条（役員の任期及び選任方法）

理事の任期は、毎年４ 月１日から翌々年 ３ 月 31 日までの２年間とし、会長及び副会長の任期は毎年 ４ 月１日から翌年３月 31 日までの１年間とするが、任期延長も出来る。

1)　当年の会長が翌年も会長職の継続を申し出た場合、或いは同好会会長から当年の会長の継続推薦が有り本人が承諾した場合、何れの場合も同好会会長の過半

数の賛成があれば、会長職の任期延長ができる。
2)　会長の任期延長は、最大２年として副会長職＋会長１年（当年）＋延長２年とする。
3)　理事は、会長が継続を勧め本人が承諾した場合、任期延長ができる。任期延長は、最大２年とする。理事の所属同好会会長の承諾を要する。
4)　役員の任期延長は、原則として年度で１名とする。

２ 理事は、次の方法により選任する。
理事の選任方法
毎年度開始前に、別表記載の順序に従い三つの地区同好会が、１名ずつ理事の候補者を八碁連に推薦するものとし、八碁連は年度最初の総会で、特に支障がない限り当該候補者を理事に選任するものとする。役員の任期延長がある場合は、会長から必要とする地区同好会に要請して、１ 名ずつ理事の候補者を八碁連に推薦するものとする。

３ 会長は、毎年度最初の総会で前年度より任期が継続する理事の中から選任する。会長が任期延長をする場合は、当該会長を選任する。

II. 令和２年度の新規事業等の提案

重点項目１　八碁連の公共イメージと認知度の向上
重点項目２　ボランティア精神の実践と交流活動の推進
重点項目３　初心者、青少年、女性への囲碁の普及活動の強化
重点項目４　会員の技能養成と研修の実施
重点項目５　理事の業務の軽減化

III.　新年度の役員について

新年度の役員と大まかな業務は以下のようになります。新たに加わった理事は、浅川同好会の南正一郎氏と南大沢同好会の武中章三氏です。

新執行部

会長　成田滋　　統括、理事会召集、渉外（八王子市・日本棋院・文化連盟など）、

八碁連 Web サイト管理・運営

副会長　南正一郎氏　　総務、会員名簿作成

会計　武中章三氏　　現金出納、予算消化状況の点検

広報　鈴木富士雄氏　　八碁連だよりや総会議案書の編集、大会資料や記録の整理

競技　高取民治氏　大会参加申込まとめ、対戦表・対局表などの作成、多摩地区市町対抗囲碁団体戦

会場・器具　南正一郎氏・白石好伸氏　　会場予約、器具点検、大会会場設営

日本棋院八碁連支部コーナー

日本棋院の現状と支部活動　　常任幹事　南　正一郎

はじめに、3 月 13 日予定の日本棋院関東甲信越静支部長会において、信江峻、廣島松治両氏が囲碁普及活動賞(全国で 41 名)を受賞される晴れ姿を一番に載せる予定でしたが、昨今の事情により延期となりましたので、またの機会にお知らせ致します。

日本棋院より普及事業報告書(令和元年度)が届きました。内容的には、昨年度も述べましたように、日本棋院は厳しい財政状況にあり、小林覚理事長のもと抜本的な改革に取り組んでいる最中です。昨年は若手棋士、芝野虎丸八段、上野愛咲美女流本因坊、仲邑菫初段等の素晴らしい活躍が話題になり、囲碁の存在感がより増した年でもありました。日本棋院には、その追い風を受けて更なる改革を進めて欲しいと思います。

級位認定大会における指導碁の様子

具体的に八碁連支部との関連で改訂された主な点は次の

ようなことです。

1.　普及協力金

会員数に応じて支給される普及協力金の金額が従来の半分となります。八碁連支部は 10%が 5%になります。八碁連支部はこれを事業資金としていますが、現状では年間約 2 万円となります。

2.　棋士派遣

支部向けの派遣方法が、支部一般派遣と支部特別派遣の 2 種類になります。八碁連支部は支部ポイント数により、支部特別派遣が 1 枠となります。従来はこれに相当する枠を 2 枠利用出来ていました。参考までに派遣料金は六段の棋士の場合、支部一般派遣 38,000 円　支部特別派遣 19,000 円　支部以外の派遣 70,000 円であります。

他、支部報奨派遣の縮小、段級位認定大会の内容改訂等がありますが割愛します。

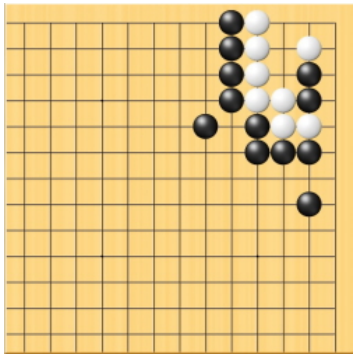
八碁連支部の活動は基本的に前年度の活動を継続していきたいと考えていますが、特に碁を楽しみながら強くなっていただくための機会提供には力を入れて行きたいと考えています。プロ棋士による指導碁、囲碁研究会の内容充実など、適時、「八碁連だより」でご案内しますので、奮ってご参加いただくようお願い致します。

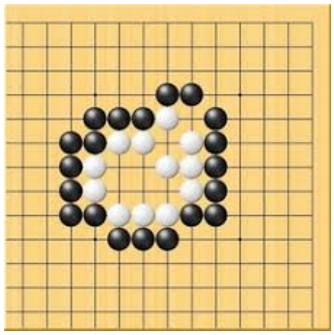
例年開催している級位認定囲碁大会も昨年度より会場費が必要となりました。参加費の値上げをお願いしなければなりません。指導碁の費用についてもオール八碁連として対処するよう提案するつもりです。何れにしてもこれらを含めた活動の具体策については支部役員で検討の上、お知らせ致します。

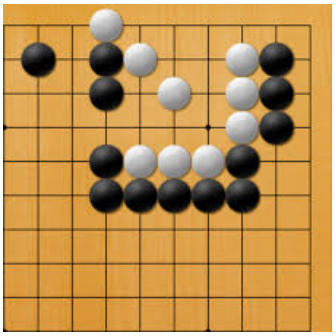
日本棋院
八碁連支部
©

日本棋院の会員数はここ３年減少しています。特に雑誌系会員(碁ワールド、囲碁未来)の減少の流れは止まらぬことがデータで示されており、その対策に頭を抱えています。八碁連支部は 2 月末時点で会員数は 43 名です。(全国会員数 27,116 名・2019 年 9 月)　上述しましたように支部特典は会員数やそのポイントで決まります。入会申込書は沢山用意しておりますので、どうかご一報下さい。

詰め碁コーナー　黒先白死







お知らせ

・ 5月10日の元八王子同好会主催の活きいき大会と6月28日の石川同好会主催の活きいき大会は中止です。5月 24 日の中野同好会の活きいき大会はペンディングとなっています。

・ 6月14日に予定している第9回子ども囲碁大会も無期延期とします。

編集後記

・ 本誌3月号の地区同好会タイトル戦の天狗戦入賞者リストの元八王子囲碁同好会の前期優勝者は「坂口勝」氏でした。お詫びして訂正します。

・ 八碁連だより5月号からは鈴木富士雄氏が編集者となります。(文責：森本康男)